

昭和七年四月二十日

書記官



書記官長

秘發七第一〇號 案

去月二十九日附會第二七九號ヲ以テ入管官吏
 身分保障ニ関スル勅令制定ニ関シ御照會ノ處
 入管ヲ命セラレタル者ノ^{御照會ノ處}休職中
 對スル休職給^{減額}成ルハ^ハリ^シヤ^ク申^付キ
 原案^ハリ^キ上^ノ層^ノ受^給者^ノ保護^ノ程度^ヲ高^ムル
 コトト致度從テ之カ支辨方ニ付テハ本院^ノ如ク

樞密院

俸給豫算額ノ極テ僅少ナル所ニ於テハ既定
 豫算ノ範圍内ニ於テ差繰支辨スルコト困難
 ナル事情可有之候間其ノ邊^ニ篤ト御考慮ノ
 上適當ニ措置セラレ康候^ノ右^ノ儀^ニ命及回答候
 也

昭和七年四月二十日

樞密院書記官

大藏大臣官房會計課長宛

書記官長

書記官



本件之付テハ何事回答ヲ發セズ其ノ儘ヨリ置テコトトス

會第二七九號

昭和七年三月二十九日

大藏大臣官房會計課長 關原忠三



樞密院書記官長 二 上 兵 治 殿

入營官吏身分保障ニ關スル勅令制定ニ關シ其入營期間中ニ於ケル休職日
數ニ對スル俸給減額方ニ付當省主計局長ヨリ別紙寫ノ通照會有之候條御
意見至急承知致度此段及照會候也

大藏省

(6.12小松納)

裏面白紙

秘

寫

計第二號

昭和七年三月二十八日

大藏省主計局長 藤井真備 閣

大藏大臣官房會計課長 關原忠三 殿

入營官吏身分保障ニ關シ別紙案ノ通勅令制定致度陸軍省當局ノ意向ニ有
 之候處第二條第三項ニ依リ入營期間中ノ休職日數ニ對シ休職俸給額ヲ減
 額スルハ其ノ休職者ノ俸給ノ十分ノ九（本人ニ對シ支給スルハ十分ノ二）
 トシ之カ休職俸給支辨ニ付テハ一般休職者ニ支給スル休職俸給ノ場合ト
 同様既定豫算ノ範圍内ニ於テ差繰支辨シ別ニ之カ爲豫算ノ増額ヲ爲ササ
 ルコトニ決定致度ニ付御意見至急承知致度此段及照會候也

(6.12小松精)

大藏省

裏面白紙

入營官吏身分保障令（勅令）案

第一條 文官志望者ノ召募若ハ銓衡ニ關スル事務又ハ文官ノ進退若ハ身分ニ關スル事務ヲ掌ル者ハ其ノ事務執行ニ當リ入營（應召ノ場合ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ命セラレタル者又ハ入營ヲ命セラルルコトアルヘキ者ニ對シ其ノ故ヲ以テ不利益ナル取扱ヲ爲スヘカラス

第二條 入營ニ因リ文官分限令第十一條第一項第四號ニ該當シ休職ヲ命セラレタル者退營シタルトキハ官廳事務上支障ナキ限り他ノ休職者又ハ新ニ任用スル者ニ先チ之ヲ復職セシムヘシ

前項ノ規定ニ該當スル者ノ入營期間内ニ係ル休職日數ハ文官分限令第十一條第二項ニ規定スル休職ノ期間ニ之ヲ算入セス

前項ノ規定ニ依リ休職ノ期間ニ算入セサル期間ノ俸給ハ之ヲ減額スル

裏面白紙

コトヲ得

第三條 前條ノ規定ハ入營者ニシテ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年ヲ超ユル期間服役ヲ志願シ採用セラレタル者ニハ之ヲ適用セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大 蔵 省

(8.12小松精)